

住民のみなさまへ

野生いのししへのCSF（豚熱）経口ワクチン散布の実施について

奈良県 CSF 感染拡大防止対策協議会

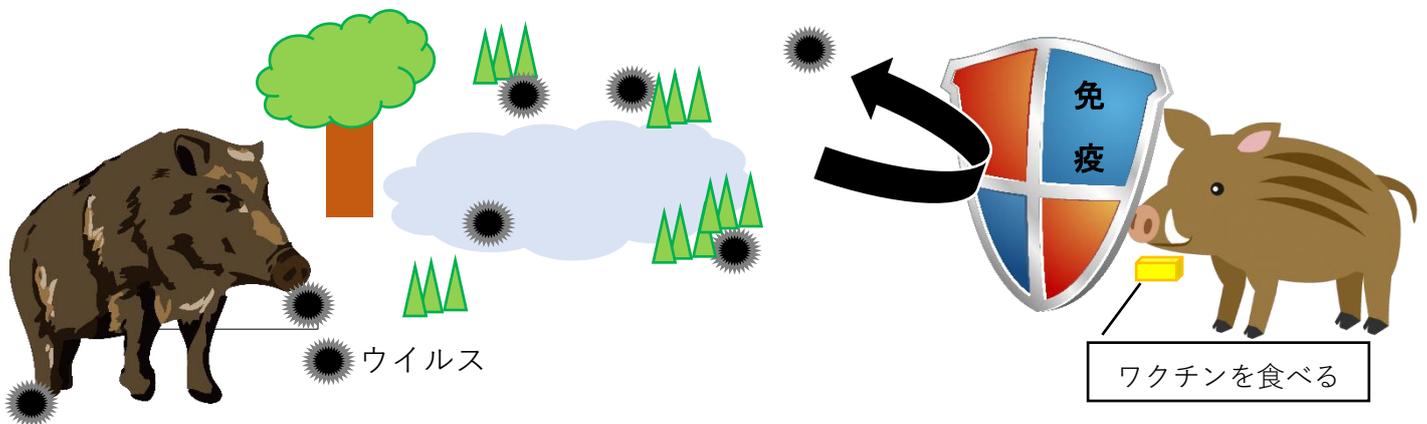
平成 30 年 9 月に国内で 26 年ぶりに CSF（豚熱）が発生し、東海地方の農場を中心に 59 例が確認されています。現在は発生地域を中心に飼育豚に対するワクチン接種が始まり、農場での発生は収まっています。

一方各地で、野生いのししの CSF 感染は確認されています。（18 府県で確認）。今のところ県内で、感染したいのししは確認されていませんが、近隣府県では継続的に確認されています。

そのため、奈良県はいのししに、免疫を持たせ感染拡大を防ぐために、CSF 経口ワクチン散布を行います。



みなさまの、ご協力とご理解をお願いいたします。



Q1 経口ワクチンって、どんなもの？

A ワクチンの入ったアルミ包の周囲を、トウモロコシ粉末で固めた四角い固形のもので、指定された使用方法で、人に対する影響はありません。

Q2 経口ワクチンの散布って？

A いのししが住んでいる山林の土の中にワクチンを埋めます。いのししは掘り出してワクチンを食べます。

Q3 経口ワクチンの散布期間は？

A 1回の散布につき、餌付けに10日間、ワクチン散布に2～4日、散布後のワクチンの回収に3～4日程度を考えています。

Q4 散布回数は？

A 令和2年度は、あと3回を予定しています。

Q5 どうしてそこにワクチンを散布するの？

A 感染したいいのししを確認した地域と隣接する場所に散布します。概ね1km四方に1箇所選びました。散布地域は、感染いのしし発見状況によって見直します。

Q6 散布後のワクチンは、どうなる？

A どれだけいのししがワクチンを食べたか調査するため、食べ残しやアルミ包は回収します。

Q7 他の野生動物が食べてもいいの？

A 他の野生動物が食べないように散布をしますが、野生動物が食べても影響はありません。

Q8 ワクチンを食べたいいのししの肉を食べても大丈夫？

A 安全性に影響はありません。国が指定しているワクチンです。